

学校教育目標
心豊かで しなやかに
生きる力 を育成する

西ノ京

京都市立西ノ京中学校
学校だより ⑫
令和2(2020)年3月24日
校長 内田 隆寿

祝 第71回卒業証書授与式 ～ 支え合った131名 西ノ京からの旅立ち ～

3月13日(金)、週間天気予報では雨も心配されていましたが、今年の暖冬の流れからか暖かく穏やかな天候の中、平成31年度西ノ京中学校第71回卒業証書授与式を挙行了しました。

新型コロナウイルスの感染拡大でまさかこんな状況になるとはだれも予想していなかったと思います。横浜のクルーズ船の話題が出たのが2月の最初。それから1か月の間に状況はどんどん変わり、とうとう京都市では3月5日から休校措置となりました。公立高校中期選抜や卒業式を控えた3年生は特に不安だったに違いありません。場合によってはいつ中止になってもおかしくないような状況の中、なんとか今日の日を迎えられたという感じです。参列者を制限したり、通常の式次第をかえて時間短縮をしたりしながらも、3年生にとっての晴れ舞台となる卒業式をできる限りいいものにしたいとの思いはいつも以上に強く、ほぼぶっつけ本番の当日は、保護者や地域の皆様のおかげもあり、ピリッとした素敵な卒業式であったと思います。



出口は全く見えない厳しい状況が続きますが、それでも卒業生の一步は踏み出されました。中学校3年間で身に付けた力をもとに、それぞれが春の新生活に向け、しっかりと準備してください。在校生の模範になる、安心感のあるいい学年でした！…ありがとう…

ここに、学校長式辞と在校生・保護者に向けた卒業生代表決意の言葉(抜粋)を掲載して、式の報告といたします。

式辞

この冬は暖冬だったせいか、木々の芽も一足早く膨らみ、新たな希望と飛躍への期待を秘めた春の息吹が感じられる今、命をもおびやかす、そして、国難ともいえるような新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、全国の学校に休校要請が発表されました。本市も苦しい決断ではありましたが、「子どもの命を守りきる」を最優先に、3月5日より休校となりました。

世の中が一変するような大きな社会不安、先の見通しがもてず、さまざまな場面で晴れの舞台を奪い続けている大変難しい状況の中、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力のもと、卒業生の門出を祝う第71回卒業証書授与式を、このように厳粛に、そして例年にも増して温かなまなざしに包まれて挙行できますことに、心より厚くお礼申し上げます。また、このような事態の中、ご来賓代表として、PTA会長様、学校運営協議会代表理事様にご臨席賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。ただ今、卒業する131名の皆さんに、クラス代表授与とはなりましたが、卒業証書をお渡ししました。これをもって皆さんの中学校3年間、そして義務教育9年間の全課程が修了いたしました。皆さんの今日の喜びと感激は、皆さん自身のたゆまぬ努力もさることながら、保護者や家族の方々の温かい育みなしには、到底果たしえなかったことを忘れることなく、今改めて、これらの人々に感謝の気持ちを持ってもらいたいと思います。

さて、この10年で私たちの生活は大きく変化しました。デジタルカメラやテレビ、音楽プレイヤーなどのツールはスマートフォンにとって代わり、電子マネーによるキャッシュレス化は社会の構造や経済までも変革させました。そして、今も進化し続けるIoTやAIなどにより、今後の10年もより急速に、そして、多様に变化させるでしょう。そんな予測不可能な時代を近い将来皆さんは社会人としてその先駆けとなって生きていくことになります。そんな時代を生き抜くために何が必要か。それは、正解のない事に対して自分の頭で主体的に考える





力です。これはまさしく、「これから何を大切に、どう生きていくか」ということを一人一人がしっかりと考えていくことです。今回のこの新型コロナウイルスの状況は、そんな皆さんに与えられた大きな課題なのかもしれません。

皆さんは入学以来、さまざまな経験を通して大きく成長しました。それぞれの個性がぶつかり合うことなく、折り合いをつけながらしなやかに、そして、銀河のようにエネルギーを蓄えながら規律の取れた学年集団としてまとまっていきました。その証が、さまざまな場面で見せてくれた学年エールであり、修学旅行や体育祭、文化祭、合唱コンクールでの皆さんの懸命に取り組む姿でした。まさしくこの西ノ京中学校の校章のイメージを皆さんが体現してくれました。

皆さんは、これから、それぞれの進路選択に従って新たな社会と出会いますが、またこれも皆さんにとって正解のない問いの始まりでもあります。でも、皆さんならきっと大丈夫。9年間で身に付けてきた力を感じながら、その時その瞬間を「どう生きるのか」をしっかりと考え、歩みを進めてほしいと願っています。その一歩一歩が皆さん自身の答えであり、その足元から世界は変わっていきます。

最後になりましたが、ご列席の保護者の皆様。お父さまのご卒業、誠におめでとうございます。この式が、卒業生・保護者の皆様が思い描いておられたような形にならなかったこと、誠に心苦しい限りでございますが、これまでの本校の教育活動に賜りました温かいご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。本日卒業していく生徒たちのこれからの成長と、私たちの西ノ京中学校の発展に対して、ご臨席いただきましたご来賓の皆様ともども、さらなるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、卒業生の皆さん。いよいよお別れの時です。1日も早く、穏やかな普段の生活を取り戻し、あの時はコロナで大変だったなと思い出になる日が来ることを祈念するとともに、これからも心豊かでしなやかに生きていかれることを心より願い、本日の式辞といたします。 令和2年3月13日 京都市立西ノ京中学校 校長 内田 隆寿



●決意の言葉●

卒業式に出席することのできない在校生の皆さんへ

まず、開催できなかった三年生を送る会の準備と想いのこもったビデオレター、そして送辞のビデオ…、と私たちのためにありがとうございます。

私たちは、全校のお手本となるような先輩でしたか。私たちにはこの三年間、様々な困難な壁がありました。しかし、私たちは全員でその壁に臨み、むしろその壁をチャンスととらえて、より素晴らしい行事・学年を作り上げていきました。

どうか皆さん。あきらめることなく、己の力を信じて、限界の壁を突き破ってください。そして、全ての力を結集させて、もっともっと活気のある西ノ京中学校を作り出してください。その姿を見れる日を、卒業生一同心待ちにしています。

一番近くで私たちを支えてくれたお父さん・お母さん

時には進路選択など…でぶつかり合い、またある時には、学校生活の相談相手として…。本当にありがとうございました。

九年間の義務教育を修了し、これからは自分の意志で新たな道を切り拓いていかなければなりません。これから私たちが進む先で、悩んだり、苦しんだりする時があると思います。そんな時は、今までと変わらず、そっと私たちの背中を押して下さい。よろしくお願いします。 卒業生代表 井上 翼



お知らせ

●離任・退職教職員の発表は、3/24（火）15:30以降に、校内掲示板・学校ホームページで発表します。なお、予定していた3/30（月）11:00～の離任式は今般の事情により実施しません。

●始業日 4/6（月） 登校 8:35 クラス発表、着任式・始業式、学活など

※学校だより『西ノ京』もこれが今年度最終号です。この1年間、どうもありがとうございました。

